

流行性疾患とホメオパシー アドバンスコース

ロータスホメオパシーセンター

無断転載・コピーを禁ず



流行性疾患に対応するレメディ

Gelsemium, Lycopodium

流行性疾患のレメディ

- 流行性疾患に良いレメディは、たくさんある
- 基本は、症状に合わせて適切なレメディを服用する
- いかに症状を観察するかが最も大事な要素
- GelsemiumとLycopodiumについて



Gelsemium

Gelsemium

- 6～8時間かけて進行する通常の病気を視覚化する。クライアントは前日、少し気分が悪くなった。おそらく少し頭痛、少し熱っぽい、少し不明確な痛みがあり、少し鼻水が出る。ベッドに行くが、ほとんど眠れず、翌朝は腐ったように感じる。
- Gelsemiumの症状はかなりゆっくりと進行し、上記の症状像を正確に示します。
- 多くの場合、症状は大きな興奮や刺激の後に始まります

Gelsemium

- 冬の終わりに暖かい天気が戻ると、病気が再発します。
- i. 春の風邪
 - 激しい疲労感を見るでしょう。非常に鈍くて疲れており、重だるく見え、目が重く眠いです。邪魔されたくない、静かにいたい。
 - 間違いなく充血しており、顔はわずかに紅潮しており、むしろ鈍い種類の紅潮と目元、唇は少し薄暗いです
 - 皮膚は一般的に少し薄暗いです、そして表面は確実に湿っています-熱くて粘着性があります。

Gelsemiu

- 別の症状は、熱くて粘り気のある感覚で、熱反応が非常に不安定になる。熱くて粘り気を感じるが、背中を上下に少し寒く震えているような感覚がある。実際の震えの発作ではなく、誰かが冷たい手を走らせた、または少し冷たい水をこぼしたかのように、震えが背中に降りてくる。
- 常にある程度の震えがあり、手は病気の重症度から予想するよりもはるかに速く不安定になる。コップを持ち上げて飲んでみると、必ず揺れる。がたつきにしばしば関係しているのは、不安定感であり、多くの場合、落下するような感覚。特に半分眠っているとき、ベッドから落ちるかのように感じる。突然の痙攣で目を覚まし、まるでベッドから落ちたように感じる。

Gelsemium

- Gelsemiumを必要とする人は全然努力したくない人。動くことで、あらゆる種類の不快感が悪化する。不安定な循環により、冷たい隙間風に間違いなく敏感で、それが震えの原因となる。
- 原則として、口は激しく乾き、唇は非常に乾く。非常に多くの場合、乾燥してひび割れ、またはある程度の乾いた分泌物で乾燥する。
- 不快な味覚に不満を言うでしょう、そして舌に焼けるような感覚がしばしばある。舌自体は通常、黄色がかっているが、時々赤く乾燥している場合もある。

Gelsemium

- とても不快なひどい頭痛。
- 通常、後頭部に激しい痛みがあり、頸部の筋肉にこわばり感を伴って首に広がっている。うっ血性頭痛のため、通常はズキズキするという特徴がある。
- 完全に静止し、枕で支えられているとき、最も快適。そのため、苦勞せずに頭が上がる。頭痛により、めまいの感覚を訴える、特に動いている時に。
- うっ血性頭痛という種類の頭痛があるが、締め付け感があり、まるで頭の周りに、後頭部から右前頭領域の耳のすぐ上に、きつく包帯でもあるのよう。
- i. 他の頭痛のように、頭を低くして横になることによって非常に悪化。

Gelsemium

- 特に、かなりの量の排尿することにより、うっ血性頭痛からの楽になることがよくある。
- まぶたに強い重さが見える。
- 目が敏感になっている。
 - i. 鬱血があり、光に過敏、目の潤いがある。
 - ii. 光に過敏にも関わらず、暗闇が怖く光りを欲しがる
- 急性の鼻水、水っぽい分泌物、ひどいくしゃみと強い鼻の根元の圧迫感と膨満感
- Gelsemiumの人は、強く鼻をかむので鼻血の原因となる

Gelsemium

- のどが痛くなり、ふくらんで赤くなる。
 - i. 飲み込んだ時に痛みがあり、飲み込みづらい
 - ii. 収縮するような感覚や塊があるような感覚
 - iii. 温かい飲み物よりも冷たい飲み物が飲みにくい
- 声が枯れて、クループのような咳が出て、痙攣するのが特徴
 - i. 咳はひどい呼吸困難を伴う
- 典型的なGelsemiumの人は、汗をかき、口が乾くのに関わらず、普通あまり喉が渴かない

Gelsemium

- 胸部(しばしば心臓の近く)に頻繁に恐ろしい空っぽの感覚を訴える。
 - i. この症状は時々、上腹部に降りていき、やはり空っぽの感覚があるという。しかし実際空腹ではなく、食べ物への欲求は伴わない。
- 下痢を伴う。
- 胸部の下部に収縮するような感覚がある。
- 肩甲骨の下に痛みを伴う息切れ、汗の原因。
- 神経系の肺の麻痺または衰弱。



Lycopodium

©ロータスホメオパシーセンター

Lycopodium

- Lycopodiumは、しばらく病気である場合に示される傾向があるが、病気の最初の段階ではあまり見られない。
- 原則として、病気の初めはクライアントが精神的にかなり活動的であり、その後、非常に疲れている状態を示す。
- 少し心配で不安そうな顔つきをしていて、実際には永遠に眉をひそめているかもしれない。
- 黄褐色で、黄色がかった灰色のような外観
- 弱くて鈍い

Lycopodium

- Lycopodiumを必要とする人は、感情的に、不安を感じ、自分自身を心配し、注意を求め、誰かについて知りたいが、助けようとする人には冷静でいらいらしている。どちらかと言えば横暴で、そこにいる人への要求に間違いなく厳格だが、それでも可能な限り多くの注目を集めたいという欲求と相まってしまう。
- 眠った後、非常に冷酷な気分で目を覚ます
- しかし、顔の筋肉のより一般的な痙攣があり、鼻は薄暗い印象を与える

©ロータスホメオパシーセン

Lycopodium

- 常に非常に目立つ黄色の歯の変色を持つ傾向がある。
 - 口の中で酸味を訴えることが非常に多く、舌は白く塗られている傾向がある。
 - i. これに加えて、舌の縁に沿って明確に敏感なスポットがしばしばあり、よく硬直し腫れていると訴える。
 - 呼吸は常に非常に困難で、息切れする。通常、胸の圧迫感、または実際の狭窄の感覚を訴えま
- る。

Lycopodium

□ 喉の渇きはさまざま:

- i. 時には喉が渇いたクライアントが出ることもありますが、喉が渇いていないこともあります。
- ii. 喉が渇いたら、温かい飲み物を好む。氷のような冷たい水を要求する場合、それはLycopodiumの可能性はほとんどない。
- iii. 飲むものをたくさんある場合、それは膨満感と鼓腸の感覚を生み出すのに非常に適していて、実際に吐き気がするかもしれない。

Lycopodium

- 咳は常に非常に困難で発作性。激しい、痙攣性の咳。咳をした後、胸部の激しい生々しさを訴えることがよくある。
- 痰は常に乏しく、手強く、吐き出すのが非常に困難。
 - i. それは、多くの場合、黄みがかかった灰色の血痕のある痰であり、しばしば塩味がする。

Lycopodium

- 原則として、寒さを訴える。寒さに敏感ですが、ムツとした部屋が嫌い。
- 通常、発汗は非常に少なく、肌は少し湿っているが、はっきりとした汗はない。
- 右側が悪化する傾向がある。
- 特に食物を食べた後の腹部の鼓腸; 食事をしようとするとき絶対に腹が膨れると感じる。
- 原則として、仰向けに横たわっている場合、非常に不快であり、呼吸がより困難になり、より苦痛になる。
- 目を半分開いたまま寝ているのを頻繁に目にする。
- 非常に落ち着きのない睡眠をとることはまれではなく、致命的な事故を夢見ることがよくある。

Lycopodium

- 一般的な悪化が見られる期間：夕方の4時から8時の間。
- この間、体温が上昇し、呼吸困難が増し、咳が頻繁に増加。体温は4時頃に上昇し、8時頃まで上昇し、その後下降。
- 体温は、一般的に高温で、約39.5度。脈は柔らかくて速い傾向がある。



急性症状のケアの仕方

ケースマネージメントのヒント、ポーションシー、
飲み方、ガイドライン

©ロータスホメオパシーセンター

急性症状のケアの仕方

症例がより急性であればあるほど、症状が明確になり、治療に対する反応がよりハッキリする。

一般的な評価

- 最初の1時間は、15分ごとにレメディを摂る
- 1時間後からは下記の質問をする
 - i. 反応しているか？
 - ii. ポジティブな反応か？
 - iii. まだ反応しているか？
- 反応していない場合
 - i. 症状を見直す：本当に反応していないか？
 - ii. 処方自信があるなら、もう一粒処方して1時間後に再チェック
 - 1時間後に変化がなければレメディは合っていない

一般的な評価

- 改善していたら
 - i. 起きている間は、その日は、2時間ごとにレメディを繰り返す。
 - ii. もし、症状が悪化したり、停滞した場合は、知らせてもらう

急性の症状のケース：翌日

- もし、改善しているなら
 - i. 症状がなくなるまで24時間、4時間ごとにレメディを続ける
 - ii. もし、そうしないなら、クライアントは再発する傾向がある。
- もし、改善していないなら、ポテンシをあげるか、レメディを変える。



ロータスホメオパシー

ポーテンシー

ポーテンシの扱い方

ポーテンシー

- ポーテンシーについて書かれたものはたくさんある。
- たくさんのケースがあり、ケースの管理の仕方もいろいろである
- レメディーが正しい限りは、結果は常に従来の対応策（医療）よりも優れている。
- いくつかの違いが見られる。

低いポテンシー（30C以下）

- 病気の期間を短縮する傾向はない
 - i. ゆっくりと徐々に改善することがわかる。
 - ii. クライアントは少し低い体温で通常の病気の経過をたどる。
 - iii. クライアントの苦痛を和らげ、発作の重症度を軽減し、合併症を回避。
 - iv. 完全に良好で、持続性のある脈を持つ。危機状態になる可能性は低い。
 - v. クライアントは一瞬でも不安を引き起こすことはなく、着実に良くなる。
 - vi. 症状全体に基づいて、出されたレメディの疾患の正常な過程をフォローする必要がある。

低いポテンシー（30C以下）

- 処方箋をそれほど正確にする必要はない。
 - i. 一部のレメディは症状が非常に近いため、区別することが難しい場合がある。効力を低くすると、10Mや50Mを使用する場合と比べて、レメディを与える際に少し余裕が生まれる。正確に区別する必要があります。
 - ii. 効力が高いほど、より正確な処方が必要。

高いポテンシー（200C以上）

- 急性状態の治療でより高い効力を使用すると、病気のプロセスが加速する可能性がある。
- 初期の初期段階で高い効力が与えられた場合、病気を完全に中止することが可能。
- より高い効力を後期に与えると、クライアントはその段階から次の段階にすばやく移動。
- この場合、迅速かつ正確に処方する準備をする必要がある。
- ただし、これを行うと、疾患の経過は12～48時間vs7～10日になる。

水ポーテンシー

- 水ポーテンシーには多くの利点がある。
 - i. 目が覚めていないときでも、簡単に服用できる
 - ii. 砂糖玉を吸い込まない。
- 状況に応じて、いくつかの方法のいずれかで水ポーテンシーを服用できる。
 - i. スプーンの上いくつかを置き、唇を開いてレメディを唇に入れます
 - ii. レメディを水に溶かして、クライアントに必要なに応じて一口飲ませる。
 - iii. レメディを水の入ったボウルに入れ、布を浸して湿らせ、その布を患者の頭に置いて、服用させる。

一般的なガイドライン

- 病気のコースを変え、クライアントが迅速に回復した場合、発熱がなくなった後少なくとも24時間は治療を継続しなければならず、次の週も楽に過ごしてもらおう、さもないと再発の可能性が非常に高い。
- 病気が長引くほど、回復が早くなるほど、より休む必要があり、完全な元の生活に戻ってはいけない。
- クライアントに水分が補給されていることを確認してください。水が最適。無理に食べさせない。私たちは病気のときは自然に断食し、それを尊重する必要があります。
- 常に病気を通してクライアントを診ててください。



医師が呼ばれること、唯一の呼び出しは、病気の人を治すこと、癒すために呼ばれるのです。

サミュエル・ハーネマン

©ロータスホメオパシーセンター